



心肺停止の早期認識と通報

突然倒れた人や反応のない人を見たら、直ちに心停止を疑うことが重要です。心停止の可能性があれば、大声で応援を呼び、119番通報とAEDの手配を依頼しましょう。119番通報はあせらず、簡潔に傷病者の状態を伝えるように心掛けてください。

まずは大きな声で助けを呼ぼう



一次救命処置

救急隊が来る前に一次救命処置（心肺蘇生法・AEDなど）を行った場合と、行わなかった場合では、命の助かる確率に倍以上の差があることが報告されています。心肺蘇生法には、胸を強く圧迫する「胸骨圧迫」と、口から肺に息を吹き込む「人工呼吸」があり

ます。心臓が止まると15秒以内に意識がなくなり、3〜4分以上そのままの状態が続くと脳の回復は難しくなります。心肺蘇生で脳や心臓に血液を送り続けることが、後遺症を残さないためにも大切です。

AED（自動体外式除細動器）は、心停止の原因である「心室細動（心臓がぶるぶる細かく震えること）」を取り除くため、心臓に電気ショックを与える機器のこと。市内の公共施設では、56カ所に設置されています。AEDは、コンピューターが自動的に心室細動かどうか判定し、音声で指示をするので、AEDを使ったことのない方でも簡単に、確実に操作することができます。

早期処置を行えば生存率や社会復帰率が高くなるんだね



～かけがえのない大切な命のために～
命を救うのは「あなた」です

夏本番。例年、熱中症や水辺の事故などで搬送される方が増える季節です。目の前で、急に人が倒れたら…。あなたはどうしますか？救急車が来るまでの間、ただ戸惑って慌てているだけでは、助かる可能性のある命も失われてしまうかもしれません。応急手当の知識と技術、そしてほんの少しの勇気が、急病や事故で心肺停止になった人を救うことにつながります。

受けてみませんか？ 普通救命講習

正しい技術と知識を持つ人が現場にいるかどうかで、生存率は大きく変わります。

いざという時に対応できるよう、多くの方に心肺蘇生法などの技術を身に付けてもらうことを目的に、心肺蘇生やAEDの実技を学ぶ普通救命講習を毎月実施しています。あなたも、命を救うための技術を身につけませんか？

- ▼日時 「Ⅰ」9月8日(土)13時〜17時 「Ⅱ」9月9日(日)9時〜12時
- ▼場所 消防本部会議室
- ▼対象・定員 市内在住または在勤の中学生以上の方・先着20人
- ▼費用 無料
- ▼申し込み 電話で消防総務課へ。24時間受け付け。

講習会の流れ



① 応急手当の重要性などの講義から始まります。



② 消防職員による心肺蘇生法のデモンストレーションを見学。



③ 実際に胸骨圧迫やAEDの操作を体験。

④ 修了証を受け取り終了です。お疲れさまでした。



インターネット放送局配信中
「No.169 救命講習
～いざという時に備えて～」
<http://www.ebinafield-itv.jp/>

海老名市インターネット放送局 検索

